

KIDS SMILE LABO JOURNAL

“キッズ スマイル ラボ ジャーナル”

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。

Vol.43
2025
JANUARY
TAKE FREE



KIDS SMILE LABO の 1 枚。

副園長の森誉さんが選んだ、とっておきの 1 枚を紹介します！

“夢中のかたち”

枯れ草の斜面を駆ける子どもたち
風を切り、陽だまりの中で笑う

登っては駆け、また登り
ただそれだけの繰り返し
けれど、その瞳は輝いている

転んでも、笑う
転がることさえ遊びのひとつ

夢中とは、こういうことだろう
ただ駆けるだけで、世界が輝く

photo & text by morimori

JOURNAL TOPIC

01 KIDS SMILE LABO CLASS NEWS
1月の子どもたちの様子をピックアップ！

02 LIFE is ART アンケート
8日間の展示期間が終了しました。
地域の方からのアンケートの内容を一部抜粋いたします。

kidssmilelabo.com

@kidssmilelabo

KIDS SMILE LABO

@kidssmilelabo

@KIDS_SMILE_LABO



from KOMOREBI <0歳児>



霜柱で遊んだよ

寒い日は室内で過ごすこともありますが、やっぱり外に出て身体を動かして遊ぶことが大好きなこもれびクラス。
先日、土が盛り上がっていて、キラキラ光る霜柱を発見！保育者が持ち上げてみましたが、子どもたちはすぐには手を伸ばさずに様子を伺っていました。
手のひらに乗せて見えるようにすると、そっと手を伸ばして、つついて触ってみたり、つまんで持ち上げて、これはなんだろう？とじっくり観察していました。
一度触れてみたら、子どもたちの興味が広がり、大きな塊を持って嬉しそうな様子の子や、どこからか棒を持ってきてつついてみている子もいました。
保育者が霜柱を足で踏むと、土の中から普段聞いたとがないザクザクという音がしていることにみんな興味津々。
すぐに子ども達も霜柱を踏みこきて、ザクザクという感触と音をあじわうと、繰り返し楽しんでいました。

いつものように土を掘ろうとすると、スコップに霜柱があたり固くて掘れません。なんで掘れないんだ？というように何度も掘っては試し、そうしていると他の子もコップを持って一緒に掘り始めましたが中々掘れません。
いろいろと試していると、ザクッと手応えがあり掘れる場所を発見！何度も挑戦して、やっと掘れた霜柱入りの土が入っているスコップを持ち上げて見せてくれた表情は、とても満足気でした。
寒い冬だからこそ出会う自然の現象にじっくりと触れて遊ぶことで、体験の中から子ども達がたくさん心動かす一日となりました。
明日はどんなことに会えるかな？とワクワクしながら戸外散歩に出かけているこもれびクラスです。
文 ふくちゃん

みてみて！
自分でつくった特別なヘビ凧

新しい1年が始まり、今年も元気いっぱいに登園してくれる子どもたち。
久しぶりのラボもみんなの変わらない姿にホッとしつつ、賑やかでパワフルな毎日過ごしています。
「あけましておめでとうございます」と新年の挨拶をし、そよかぜさんとお正月遊びがしたいな？と考え、紙皿を使ったヘビ凧作りをしました。
水性ペンを使い、好きな色で紙皿にぐるぐるぐる…。描けた子からハサミで渦巻き状に切っていました。
大小ある目玉シールの中からどれにしようかな？と1つ選び、顔になる部分に貼ってあげたらヘビ凧の完成です。目の貼り方で表情も様々なかわいい作品ができました。
持ち手の紐をつけると嬉しくて思わず走り出すそよかぜさん。お互いの凧を見せ合い「へびだそー」とおしゃべりをしながらキャッキヤして楽しんでいました。
凧にセロテープの痕がいくつか残っているかと思えます。遊んでいた時に凧同士が絡まり破れてしまいました…。破れてしまった凧を切ない表情で私たちの所へ持ってくる姿は、自分で作った大切な凧に愛着が湧いているのだなあと優しさや心の成長を感じました。
セロテープを貼って元通りになると子どもたちにも笑顔が戻り、再びクルクルと空を舞うヘビ凧も嬉しそうでしたよ。
今年巳年。子どもたちも色々な事に挑戦して心も身体も逞しくなってほしいと願っています。

文 れいちゃん

from SOYOKAZE <1歳児>



from NOBANA <2歳児>



育まれる心の成長

0歳のときから一緒に大きくなってきたのばなの子どもたち。最近は全員がクラスのお友達と遊ぶ時間が大好きになり、自然と輪になって遊んでいます。
気がつくと数人が集まり、ラボごっこやカルタ遊び、アトリエで工作をしたり絵の具をしたり。オリジナルソングに合わせてケラケラ、キャッキヤと笑い声をあげて楽しむ姿など、朝から晩までずっと一緒に過ごしています。
しかしながら、その一方でそれぞれの気持ちがぶつかる瞬間も増えてきました。

やりたい遊びが一緒にできなかった
繋がったお友達と手を繋げなかった
仲間に入れてもらえない
〇〇くん〇〇ちゃんにだめだね～！ などなど

今までにはなかった様々な事態が起き、流暢に話せるようになった子どもたちからはチクチク言葉が飛び交うこともあります。
しかしのばなクラスの凄いところはここから。
大人が見守っていると、当事者ではない子が間に入って仲裁をしているのです。
「そうしたらさ、〇〇にしたら？」
「順番にしたら良いんじゃない？」
そして解決すると、また笑顔で遊び始める。
「さっきはごめんね」という言葉も聞かれます。
もちろん泣きながら保育者に助けを求めてくることもあります。のばなの子どもたちの団結力には驚かされることが多いです。
「のばな」という小さな社会の中で一人ひとりの成長がぐんぐんと見られるのです。

さあ、のばなでの生活も残すところあと2ヶ月ですね。しかしながら担任はまだまだやりたいことがいっぱいの2ヶ月です。
最後の最後まで笑って泣いて楽しく過ごせたらと思います。

文 あづあづ

from MINAMO OZORA DAICHI <3・4・5歳児>

調理の日を通して

スイートポテト、お味噌汁...これまで何度か行ってきた調理の日。
子どもたちの「やってみたい!」を叶えるべく相談した結果、今月の調理はパンケーキに決まりました。

step1 話し合い

チームでパンケーキの上に乗せる食材の話し合いをします。果物やヨーグルト、ジャムなどの中から2つ選ぶことになりました。「いちごがいいひとは〇にん」「バナナがいいひとは〇にん」「いちごはやめて、みんなの好きなバナナでもいいから、いちごジャムはいれてほしい」など、年長の子もたちが中心となって話し合い(交渉)をしていました。私たち大人は「もう少し揉めるのではないかと大波乱を予想していたのですが、子どもたちのスムーズな話し合いに、チーム活動の積み重ねの成果を感じました。「自分の気持ちを伝えながらも相手の気持ちを汲み取る」大切なことをこの話し合いの中から学んでいるようでした。

step2 買い物

今回は各チームのパンケーキにトッピングしたい食材に加え、小麦粉、砂糖などパンケーキを作るために必要な基本的な材料を1から買いに行きました。スーパーに行く経験は今年のみならずだいちさんでは初の試み。出発する前にどのようなことに気をつけて行くか子どもたちに聞くと、「まいごにならないように、ぎゅっとしてあるく」「かわないものはさわらない」「まわりのひとにめいわくにならないように、ひろがらない」等、様々な意見を出してくれました。スーパー以外にも普段、アミューや図書館など公共の場所へ行く機会が多いラボの子どもたちですが、そんな経験を経て社会性が育まれていることを感じました。

step3 調理

いよいよパンケーキ作りがスタート!
どんどん作業を進めて焼き始めるチーム、じっくりと丁寧に時間をかけて混ぜるチーム、チーム毎のカラーが全く異なることに私たちも面白さを感じました。時々「ちょっと〇〇チームのようすをみてくる!」と、子どもたちも他のチームの様子が気になるようで、自分たちの完成したものを見比べたりしていました。チームみんなで準備をして作り上げたパンケーキは特別美味しく、心もお腹も満たしてくれました。調理の日を通して子どもたちの心の成長や仲間意識を感じることができました。

文 ゆりゆり



OKストアに買い物に行ったよ!



前日に計量をしました!



みんなで力を合わせてま〜ぜませ!



たくさんパンケーキが焼けたよ!



トッピング♪



おいしくてとろけちゃう〜!



LIFE is ART

ご来場いただきありがとうございました!

本厚木ミロードで行う、3回目のアート展。今年も8日間の日程が無事に終了しました。お忙しい中、お時間を作りご来場いただき、誠にありがとうございました。期間中の土曜日には職員が会場へ出迎えると、大きい子どもたちはご家族の手を引き、自分の作った作品を紹介したり、小さい子どもたちは自分の写真を指さしたり、友達の名前を教えたりする姿がありました。とても温かな時間に大変嬉しい気持ちでいっぱいになりました。又、入口に置かせて頂いたアンケートBOXには30通もの感想をいただきました。今回はその一部をご紹介します。

- どのお子さまも素敵な笑顔をしていて、楽しさが伝わりました。
- 子どもたちの笑顔がとても素敵で心に残りました。我が子も七沢でのびのび過ごしていたことを懐かしく思い出しました。
- 作品のイメージが変わりました。誰かに見せるものではなく、子どもたちが心から楽しんでたことなんだろうなあと見ていて感じました。見ていて、楽しかったです。
- 正解とか不正解じゃなく、これこそアートなんだと思いました。心から楽しんでいる様子が伝わり良かったです。
- 子どもたちが本気で遊んでいる姿を見ることができました。これからの子どもたちの活動を楽しみにしています!

このように地域の方々にも KIDS SMILE LABO の活動が届いたようです。これからも日々の生活そのものが彩り豊かな子ども時代を、一緒に楽しみ、寄り添っていきたくと思います。



こどもの
写真と
アート展



一人ひとりが、アーティスト。

LIFE is ART

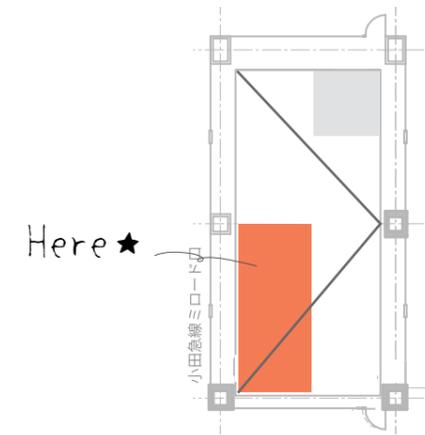
What is “LIFE is ART”

『LIFE is ART 展』は保育園 KIDS SMILE LABO の日々の表現活動で生まれた作品と写真を展示する〈こどもの写真とアート展〉です。私たちの園では、アートをする際に、完成形ではなくその過程〈プロセス〉を大切にしています。子どもたちがアートをしている様子を見ていると様々な姿に遭遇します。素材をどれにしようかと選ぶ場面、素材を手にした時に見せる表情、それをどうしようか試行錯誤する姿、周りが気にならないくらい集中している姿など、アートを通して心も頭もカラダもフル稼働しているのが感じ取れます。作ったものが最後のカタチになるまでには色々なドラマがつまっています。まさにこの時間こそがアートの醍醐味であると考えています。また、創るだけでなく日々子どもたちが見せる〈表現〉の数々。泣いたり笑ったり、何かに出会った瞬間に見せる表情や、友だちとのやり取りで生まれる感情。日々の中に溢れている表現を写真におさめて展示をしていきます。

そんな KIDS SMILE LABO のアートの世界。作品たちの向こう側に見える世界と、ありのままのこども時代をどうぞお楽しみ下さい。



from KOMOREBI 〈0歳児〉



感触あそび

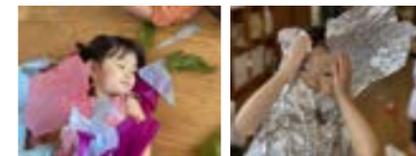
〈1歳児〉

この夏もたくさんの感触に触れました。大きなシートを広げるだけで、これから始まる楽しいことを予測して「きゃー！」と楽しくなってしまう子どもたち。何がはじまるのかな？とウキウキしているみんなの表情は自然と笑顔になります。

ふわふわな小麦粉や片栗粉、冷たくてツルツル滑る寒天や氷...他にも様々な素材で遊びました。

不思議そうに見つめるこどもたちの眼差しはいつも好奇心いっぱい、心の中にあるワクワクした気持ちが、その場の雰囲気から感じとれる程です。

活動する前のキラキラした目は素材に触れると、瞬間に真剣な表情に移り変わります。子どもたちがどんなことを考え、感じ、夢中になっているのか、写真を通して保育の一コマを皆さんにも感じ取って頂けたらと思います。



感触あそび

〈0歳児〉

こもれびクラスでは、これまで日々の活動を通してたくさんの素材に触れてきました。好奇心旺盛な子ども達は感触遊びが大好きで、新たな素材に出会う度に「これは何だ？」と積極的に手に取る姿が見られます。

小麦粉粘土遊びでは、丸めたり伸ばしたり様々な形に変化することに気が付き、ケーキや団子を作っておままごとが始まったり、絵の具遊びでは、手や足にも色がつくことに気が付いたり、いつの間にか紙ではなく身体がキャンパスになっていたりと、触れていくうちに形を変えて変化していく素材に、新たな遊びや世界がどんどん広がっていきます。

次はどんなことをして遊ぶのかな？とワクワクしながら今日もこもれびクラスは感触遊びを楽しんでいます。



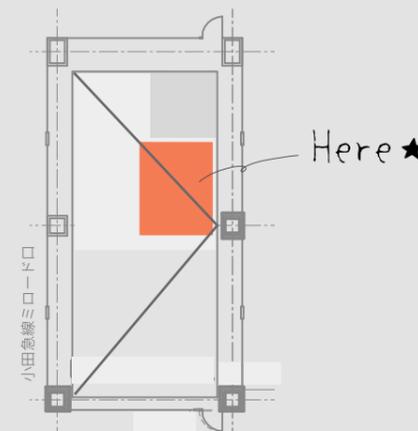
風車

親子交流会の日にお父さん、お母さんと作った風車。クリアファイルに油性マジックペンを使って模様を描きました。自分の好きな色を手に取り、ぐるりと絵を描くようにしてみたり、左右に塗りつぶすようにしてみたりと一人ひとりのびのびと表現していました。持つ場所には、丸シールも貼り、飾りました。親子交流会後も戸外散歩に持ち出して遊んだ日には、風が吹いて、自然に風車がまわる姿をみて大喜びの子どもたち。また、保育者が走って風車がまわっている様子を見て、自分も走ってみたり、高く上げて風の方向を感じてみたり、地面においてまわる方向を探してみたりと、子ども達の様々な姿が見られました。

風車で遊んだことで、普段目に見えない『風』を身近に感じることができました。



from ひげの写真館



子どもたちがラボで過ごしてきた日常。ここに飾られた写真はほんの一部。KIDS SMILE LABO という場所で、厚木という場所で、子どもたちが心動かし彩ってきた一瞬を写真という形で記録しました。ふと目を留めて眺めたり、細部にまで目を凝らしてじっくり見入ったり。写真に映る風景の向こう側にある、子どもたちのやりとりや気持ちを想像してみるのも楽しいかもしれません。見方は人それぞれ。写真一枚一枚から、あなたなりのストーリーを感じてみてください。

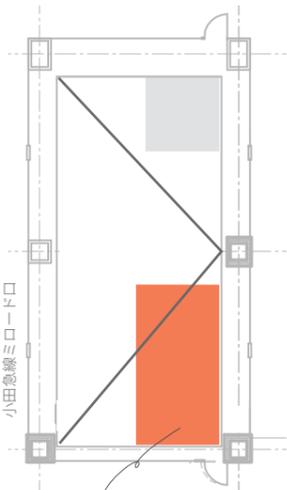


草木を纏う

Tシャツ

シェイピングフォームの白い泡をだすと、躊躇なく手を伸ばし、感覚を味わっていました。一人ひとりに用意された大きな画板に両手両足で泡をグルグルと広げ、自分の好きな色の染色液をポタポタ、シャバシャバ。そしていよいよ真っ白なTシャツへ転写。迷いなく両手で色の泡をすくってペンキ塗りのようにベタベタ、腹這いになって泳ぐようにスイスイ。泡に入り混じった染色液は、細やかで独特な表情で布を染めていきます。その表情に感化されながらTシャツを変化させて行くヒト、ただひたすら手や腕に泡を撫で付けて感触を味わうヒト、画板に座って泡をもんじゃべらで取り去るコトに没入するヒト。好きな色から始めた色の世界は、必然と偶然を繰り返しながら深まったり広がったり。それぞれの色彩の世界が生まれていきました。

アフリカ・オーストラリア・パプアニューギニアなどの先住民族の間で個人のアイデンティティを示す表現。草木を纏うという表現を体験しました。草木を纏った先住民族の子どもの姿を写真で眺めた後、用意していた白いポンチョを着て、何になりたいかイメージしながら河原へ向かいました。いつも遊んでいる河原に生息する緑の大きな葉や蔦、鮮やかな赤い実、白、黄色の小さな花、衣服にくっつく種子などを見つけては身につけたゴムやポンチョの穴に刺していました。鏡に姿を映すと、ニマ〜と笑みを浮かべ、じっくり眺めていましたよ。そして、また新たな草花を探して加えたり、付け替えたり、変身した姿になりきって「ガオー!」「ピーポーピーポー」と走り回ったり。最後は保護者の方からご提供いただいた様々な草花で変身を仕上げ、草木を纏った姿を見せにLABOへ帰り、意気揚々に披露しました。



Here★



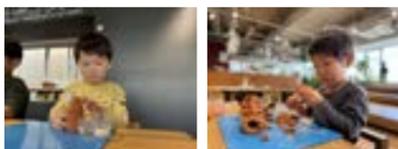
ラミネート

6月から大切に育ててきた朝顔が白・ピンク・あおむらさき色の花を次々と咲かせました。その花で色水遊びや叩き染めを楽しんだ夏。

春雨、寒天、片栗粉、氷、新聞紙様々な素材で感触遊びを楽しんだ夏。

夏祭りではラボの全員の前で『しりとりうた』を披露したり、幼児さんが出してくれたお店やさんがとにかく楽しかった夏。

そんな夏の楽しかった思い出をギュッとラミネートの中に閉じ込めました。



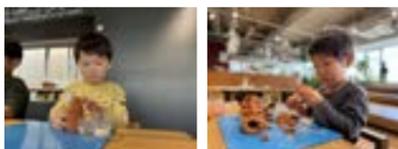
粘土

お守りのお人形づくり

第二の脳と呼ばれている手指。2歳児になると手先の細かい動きもできるようになってくることから、のぼなクラスでは春から粘土の活動を多く取り入れていきました。油粘土、土粘土、トイレットペーパー粘土。手のひらを使って、指先を使ってそして全身を使って、粘土表現を楽しんできました。そこに粘土ベラといった道具や、水を加えることで広がっていく表現の幅。じっくりじっくりと1時間、2時間と粘土と向き合い楽しむ姿が見られていました。

そして、集大成となったのが、赤土粘土を使って作った、それぞれの『お守り人形』。

ちぎったりくっつけたりする中で生まれてくるイメージを楽しむ子が居れば、作りたいものを決めて手を動かす子もいました。どの子にとっても達成感たっぷりの、自分だけの『お守り人形』が完成しました。



親子交流会

のぼなクラスに進級して、大きな部屋にやってきた子どもたちが最初に興味を持った場所がアトリエ。アトリエ内に置かれた素材に手を伸ばし、心の動くまま手を動かす姿が見られました。そこで春の親子交流会では、子どもたちの興味に合わせて、『テープで遊ぼう!』をテーマにアート活動を行いました。

ガムテープ、セロテープ、マスキングテープ。様々なテープを使って、空き箱やダンボールなどの素材を組み合わせて形にしていきました。

お店屋さんごっこを始める子、箱を組み合わせて車を作る子、大好きな犬を作って散歩させる子と、それぞれが好きなものを作る姿が見られました。

「ここ押さえてね」「ここに貼りたい!」と、子どもたちの声に寄り添いながらお父さん、お母さんと一緒に作り上げた作品の数々。何をイメージして作ったのか予想しながらお楽しみください。

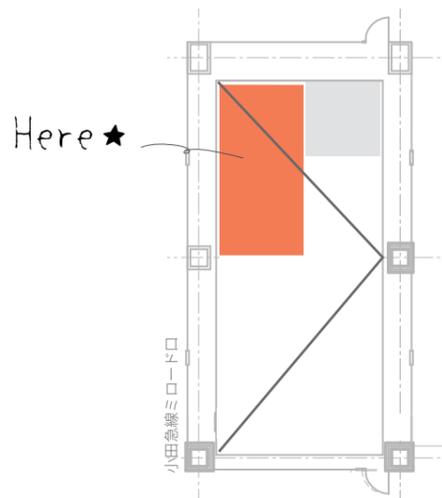


透明なモノに描く

大きな大きな透明素材とたっぷりの絵具。様々な道具を持ち透明な空間の中で、手や大人にペインティングしたり、その手でシートにスタンピングする子どもたち。

隣の人達とおしゃべりしながらローラーを上へ下へコロコロ転がしたり、空間を走り回ったりジャンプしたり、ダイナミックに、繊細に、それぞれで過ごしていました。

「ここからみるとキレイだよ〜!」と光を通してみる作品が美しいことを教えてくれたり、「まだやる〜!」と1人残って沢山の青の世界を創造し続けたり、それを眺めに来たり透明な世界とみんなの関わりは続いていきました。



Here★

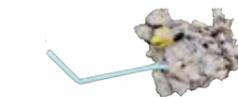
自由な作品たち



KIDS SMILE LABOにあるアトリエ。子どもたちが自由に出入りし、好きな素材を使って、思い思いに製作ができる場所です。

アトリエで生み出された作品や活動の中で生まれてきた作品を、ここにいくつか展示させていただきました。

一人ひとりの想いや考え、興味や関心が形となって表現されている作品たちです。



宝物と石膏

散歩で拾ってきた石や金属、プラスチック素材の宝物を土粘土に押し付けて型取り、石膏を流し込むレリーフ作り。石膏は石灰（貝殻など）素材の自然物で建築や彫刻などに使用される粉末状の素材で、水と攪拌すると化学変化を起こして熱を帯びながら硬化します。

硬化させて模った立体をつくれたり、粘土を造形していくことに意識が移って自分の好きな世界を作り込んでコーティングする様に石膏を垂れ流したり、直接石膏の粉と粘土を混ぜ合わせて、その世界を語り続けたり。

粘土の成形が難しく、またなかなか硬化せず“上手くできない”状態を大人が焦る傍でそれらを受け入れつつ、偶然生まれた表現を面白がり変化させていく逞しい子どもたちの姿が印象的な時間となりました。



透明なモノで作る

無数にある透明な容器の中から、自分のお気に入りを見つける。まずはそこから始まりました。

丸い形だけを集める、四角い形だけを集める沢山持って行ったり、1つずつ持っていったり思いを巡らせながら選んでいく子どもたち。

くっつけてみる、穴を開けてみる、開けた穴を覗いてみたり、糸を通してみたり...手を動かしているうちに友達や保育者と話しをしているうちに新しいイメージが湧いてきたりどんどん形を変える作品たち

糸電話やネックレスに潜水艦できあがったもので遊んだり色も塗ってみたり

自分との対話を経て周囲の存在からの影響を受け一人ひとりが納得行くまで作り続けるのでした。

